

かながわニューツーリズム

- 南足柄市への観光の提案-



“箱根の周辺地域”を強みに、南足柄を有名観光地に

(背景・目的) 神奈川県のある観光地としては箱根町や小田原が挙げられる。箱根町の周りには真鶴町や南足柄市、山北町、開成町などが存在する。箱根、小田原には国内外問わず、多くの観光客が訪れるものの、箱根周辺地域であるこれらの町や市に訪れる観光客は少ないという、もどかしさがある。私達がスポットを当てた南足柄市も質の高い観光資源を保持しながらも知名度は低く、人口低下が進み、近年では小田原市との合併が危惧されたほどである。そこで私達学生の視点から南足柄市へ観光についての提案を行なった。

(活動内容の概要) 私達は今回1年を通じて観光学について学んできた。まず観光学入門-ポスト・マス・ツーリズムの観光学- (岡本伸之著・有斐閣アルマ)を通して、氏川教授のご指導の元、観光学の知識のインプットを進めた。観光学を学んだ後、実践に移すべく、夏期休暇には他大との合同授業で山梨県道志村に出向き、横浜市の水源地である道志村について学びながら干ばつボランティアを行い、村の活性化に関するイベントに参加し、現地の方と意見交流をした。後期にはこれらを踏まえ、観光地として知名度の低い南足柄市への提案に焦点を置いて活動を進めた。実際に南足柄市にフィールドワークで出向き、そこで感じたことを踏まえ、広報、交通、宿泊の3つのテーマから南足柄の観光面について提案を考えた。氏川教授と南足柄市の方や、観光協会の方に提案に対して、意見やフィードバックを頂き、実際の“観光”について理解を深めた。

(今後の可能性) 私達の提案の1部を採用しようという動きが生まれた。来年度以降も南足柄市への継続的でより深い関わりや提案が期待される。また今後新たな地域、団体との連携も視野に入れている。

- 学生：3名 (石塚治樹、岩崎羽衣、林田康暉) /担当教員：氏川恵次
- 連携・協力：南足柄市、フェリス女学院大学各位